



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場取引所 東 福

上場会社名 リックス株式会社
 コード番号 7525 URL <http://www.rix.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 松浦 賢治
 (氏名) 苅田 透

TEL 092-472-7311

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	20,876	△3.9	881	△0.3	954	△1.4	573	25.5
24年3月期第3四半期	21,732	9.0	883	△2.5	968	2.6	456	25.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 532百万円 (46.9%) 24年3月期第3四半期 362百万円 (△2.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	67.57	—
24年3月期第3四半期	53.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	19,303	8,753	43.4
24年3月期	19,545	8,433	41.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 8,371百万円 24年3月期 8,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
25年3月期	—	9.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,600	△2.6	1,100	△11.1	1,170	△13.2	630	△3.3	74.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細につきましては、添付資料5ページ「(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

詳細につきましては、添付資料5ページ「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	8,640,000 株	24年3月期	8,640,000 株
25年3月期3Q	208,564 株	24年3月期	148,564 株
25年3月期3Q	8,480,745 株	24年3月期3Q	8,491,495 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間において、世界経済は依然として景気低迷を脱せず、ユーロ圏諸国や中国をはじめとする新興国に顕著な回復の動きは見られませんでした。一方、日本経済は景気後退局面を迎えましたが、政権交代により金融緩和など景気回復に向けた様々な施策への期待が高まり、株高・円安の動きが見られました。

このような経営環境下において、当社グループは顧客に対して原価低減、省エネルギー、品質向上等の価値提案を主とした顧客密着営業を展開し、生産比例品および消耗品等の販売に注力いたしました。また、新商品の開発・拡販にも力を入れ、業績向上に努力してまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の連結業績は、売上高208億76百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益8億81百万円（同0.3%減）、経常利益9億54百万円（同1.4%減）、四半期純利益5億73百万円（同25.5%増）となりました。四半期純利益が前年同期比で増加している主な要因は、前第3四半期連結会計期間において、税制改正による繰延税金資産の取崩しを行ったことによるものです。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(鉄鋼業界)

同業界では、エコカー補助金の終了や日中関係の悪化により自動車向け鋼材需要が落ち込み、粗鋼生産量も前年同期に比べやや下回りました。

当社グループにおきましては、製鋼用副資材としての脱磷材の売上が順調に伸びたものの、前年同期にあった海外製鉄所向け圧延ロールの大口受注のマイナス分を補うまでに至りませんでした。

この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は72億8百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

(自動車業界)

同業界では、エコカー補助金が9月に終了して以降、自動車生産台数が前年同期を下回っています。また、工作機械受注も10月以降内需・外需ともに落ち込みが続き、減少傾向が鮮明となりました。

当社グループにおきましては、海外子会社における洗浄装置の売上増が寄与したことなどにより、自動車業界向け全体としての売上高は44億31百万円（前年同期比13.5%増）となりました。

(電子・半導体業界)

同業界では、国内の半導体製造装置については受注額・販売額とも前年同期を下回っており、低調に推移しています。一方、FPD製造装置については販売額が前年同期と比べ5～6割ダウンしていますが、受注額は前年同期を上回っています。

当社グループにおきましては、半導体製造装置向け部品の大口受注やナノ微粒化装置等のプラス材料はあったものの、前年同期に好調な販売実績を残したICバリ取り洗浄装置や半導体洗浄機のマイナス分を補うまでに至りませんでした。この結果、電子・半導体業界向け全体としての売上高は18億97百万円（前年同期比22.5%減）となりました。

(ゴム・タイヤ業界)

当社グループにおきましては、加硫機中心機構の大口受注や加硫機用断熱板の販売伸長等のプラス要因はあったものの、加硫機用バルブの落ち込みが大きかったため、ゴム・タイヤ業界向け全体としての

売上高は17億62百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

（環境業界）

当社グループにおきましては、下水処理施設向け汚泥搬送ポンプの大口受注等が売上増に寄与し、環境業界向け全体としての売上高は10億33百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

（紙パルプ業界）

当社グループにおきましては、抄紙工程のワイヤーパートで使用される高圧洗浄機等のプラス要因はあったものの、ポンプ類の落ち込みをカバーできず、紙パルプ業界向け全体としての売上高は4億73百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

（化学業界）

当社グループにおきましては、黒鉛の成形工程向け高圧ポンプ等のプラス要因があったものの、前年同期に売上増に寄与した真空ポンプ等の販売分を補うまでに至らず、化学業界向け全体としての売上高は7億3百万円（前年同期比13.9%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末より2.8%減少し、145億64百万円となりました。これは主に現金及び預金が2億1百万円、受取手形及び売掛金が6億70百万円それぞれ減少し、一方でたな卸資産が1億76百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末より3.9%増加し、47億39百万円となりました。これは主に投資その他の資産に含まれている非連結子会社に対する投資が55百万円増加したことなどによるものです。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末より1.2%減少し、193億3百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末より4.0%減少し、96億92百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が10億50百万円、未払法人税等が1億62百万円それぞれ減少し、一方で短期借入金が増加した11億6百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末より15.9%減少し、8億56百万円となりました。これは主に役員退職慰労引当金が1億57百万円減少したことなどによるものです。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末より5.1%減少し、105億49百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末より3.8%増加し、87億53百万円となりました。これは主に利益剰余金が4億11百万円増加し、一方でその他の包括利益累計額が55百万円減少したことなどによるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、平成24年11月5日に公表しました業績予想に変更はありませんが、変更が必要になった場合は速やかに公表します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の算定方法)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,196,366	1,995,048
受取手形及び売掛金	10,643,617	9,973,190
商品及び製品	806,964	831,229
仕掛品	74,167	226,302
原材料及び貯蔵品	73,041	73,531
その他	1,195,959	1,468,815
貸倒引当金	△4,152	△3,832
流動資産合計	14,985,965	14,564,287
固定資産		
有形固定資産	1,864,660	1,861,987
無形固定資産	83,333	83,378
投資その他の資産		
投資有価証券	2,083,415	2,118,617
その他	536,193	679,846
貸倒引当金	△7,925	△4,461
投資その他の資産合計	2,611,684	2,794,002
固定資産合計	4,559,677	4,739,368
資産合計	19,545,643	19,303,655
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,709,465	6,659,376
短期借入金	1,175,750	2,282,609
1年内返済予定の長期借入金	42,002	4,020
未払法人税等	274,342	112,178
賞与引当金	—	158,912
役員賞与引当金	—	34,486
受注損失引当金	2,634	—
その他	889,532	441,361
流動負債合計	10,093,727	9,692,944
固定負債		
長期借入金	7,940	4,925
退職給付引当金	533,240	547,449
役員退職慰労引当金	365,764	208,038
その他	111,471	96,408
固定負債合計	1,018,417	856,821
負債合計	11,112,145	10,549,765

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,900	827,900
資本剰余金	683,986	683,986
利益剰余金	6,532,058	6,943,565
自己株式	△79,081	△122,401
株主資本合計	7,964,863	8,333,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,663	127,726
為替換算調整勘定	△89,927	△89,171
その他の包括利益累計額合計	93,736	38,554
少数株主持分	374,898	382,284
純資産合計	8,433,498	8,753,889
負債純資産合計	19,545,643	19,303,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	21,732,092	20,876,567
売上原価	17,628,013	16,673,742
売上総利益	4,104,079	4,202,824
販売費及び一般管理費	3,220,100	3,321,106
営業利益	883,978	881,718
営業外収益		
受取利息	2,888	4,487
受取配当金	20,054	21,961
持分法による投資利益	44,965	17,905
不動産賃貸料	17,492	15,853
その他	22,262	24,232
営業外収益合計	107,663	84,440
営業外費用		
支払利息	4,680	5,368
為替差損	14,858	—
投資事業組合運用損	2,741	3,082
その他	1,207	2,975
営業外費用合計	23,488	11,425
経常利益	968,154	954,732
特別利益		
固定資産売却益	70	926
保険解約返戻金	408	48,381
受取保険金	46,387	—
特別利益合計	46,866	49,307
特別損失		
減損損失	122	460
固定資産除却損	2,621	272
投資有価証券評価損	12,181	2,126
会員権評価損	190	1,100
特別損失合計	15,115	3,959
税金等調整前四半期純利益	999,906	1,000,081
法人税等	512,088	407,019
少数株主損益調整前四半期純利益	487,817	593,061
少数株主利益	31,231	19,999
四半期純利益	456,585	573,062

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	487,817	593,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△113,874	△61,975
為替換算調整勘定	△12,250	755
持分法適用会社に対する持分相当額	400	225
その他の包括利益合計	△125,724	△60,994
四半期包括利益	362,092	532,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	346,783	517,881
少数株主に係る四半期包括利益	15,309	14,186

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・半導体	ゴム・タイヤ	環境	紙パルプ	化学	計
売上高								
外部顧客への売上高	7,670,579	3,904,683	2,447,485	2,163,553	920,839	526,633	817,409	18,451,184
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,670,579	3,904,683	2,447,485	2,163,553	920,839	526,633	817,409	18,451,184
セグメント利益	576,808	140,732	100,362	106,213	42,634	31,832	76,709	1,075,292

	その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
売上高				
外部顧客への売上高	3,280,908	21,732,092	—	21,732,092
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,280,908	21,732,092	—	21,732,092
セグメント利益	112,356	1,187,649	△303,670	883,978

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △303,670千円には、内部利益 466,619千円、連結消去 176,399千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △946,690千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	環境	紙パルプ	化学	計
売上高								
外部顧客への 売上高	7,208,033	4,431,801	1,897,778	1,762,158	1,033,158	473,259	703,618	17,509,809
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,208,033	4,431,801	1,897,778	1,762,158	1,033,158	473,259	703,618	17,509,809
セグメント利益	517,752	289,738	91,510	78,955	49,249	24,585	52,613	1,104,406

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への 売上高	3,366,758	20,876,567	—	20,876,567
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	3,366,758	20,876,567	—	20,876,567
セグメント利益	110,696	1,215,102	△333,384	881,718

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △333,384千円には、内部利益 442,619千円、連結消去169,361千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △945,364千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。